

第14回藁科地域小中学校開校準備委員会を開催しました。
中藁科・清沢地区の自治会関係者、学校やこども園の保護者の皆さんなどには委員として、大川地区の自治会関係者、保護者の皆さんにはオブザーバーとしてご参加いただき、学校や教育委員会と一緒に、藁科地域の新しい学校(令和10年4月開校予定)について話し合っています。



事務局からの説明(主なポイント)と委員からのご意見

1 開校までに検討が必要な項目とそのスケジュール

事務局説明 (ポイント)	今年度は開校準備委員会を3回開催する予定であり、新校舎整備の進捗状況や新しい学校における教育制度、学校名等について協議・検討を進めていく。
委員意見	特になし

2 学校教育目標の設定について

事務局説明 (ポイント)	<p>①学校教育目標について</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 学校教育目標とは、各学校がこどもたちの実態や地域性を踏まえて設定する、目指すべき教育の具体的な姿(理念)である。「わらしなのこどもたちをどんな人に育てるのか」という、9年間の義務教育の最終目標となる。 ▶ 静岡市では全校で小中一貫教育を行っており、中学校区ごとに9年間の学校教育目標を設定している。 ▶ 学校教育目標について、「学校長が考えた目標」ではなく「地域の皆さんと一緒に考えた(願いを込めた)目標」とし、地域・保護者・こどもたち・教職員みんなの合言葉にしていきたい。 <p>②これまでの議論の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 第12回の開校準備委員会で協議した「期待する15歳の姿」は、「人との関わり」「自己肯定感」「挑戦する姿勢」「地域との関わり」「夢や将来を選び取る力」の5つに整理され、「<u>人とつながる</u>」「<u>地域とつながる</u>」「<u>自分をつくる</u>」という3つの方向性にまとめられた。また、「藁科の魅力」は「豊かな自然環境」「伝統・文化」「地域産業」「観光・地域拠点」「人のつながり」の5つに整理され、<u>藁科は都市近郊でありながら、日常的に自然や地域資源を教育に生かせる環境であることが再確認された。</u> ▶ これらを踏まえ、「<u>人・地域とつながりながら、自分をつくる</u>」という方向性で学校教育目標を作成していくことが、これまでの議論で見えてきている。 <p>③協議内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ これまでの議論を踏まえて、「人・地域とつながりながら自分をつくる」という方向性で目標を作成することについて、グループに分かれて意見交換を実施。
委員意見 (抜粋)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ これまでの「自立する子」という目標を引き継ぎつつ、地域とのつながりを盛り込んだ目標にしてはどうか。 ▶ こどもたちが地域に見守られ、愛されていることを目標に込めたい。そして、地域がこどもたちを支えるだけでなく、こどもたちも地域に愛着や誇りを持ち、地域とのつながりを深めながら共に成長していく関係を目指したい。 ▶ 「自分をつくる」の先にある具体的な姿(夢に向かう姿など)を表現できるとよい。 ▶ 「藁科に対する愛」を取り入れた言葉にしてほしい。

学校教育目標については、「人・地域とつながりながら、自分をつくる」を方向性として設定することについて、委員の皆様から了承をいただきました。具体的な文言については校長先生が検討し、次回(第15回)開校準備委員会でお示しすることとなりました。

3 新校舎の概要について

設計事務所 説明 (ポイント)	<ul style="list-style-type: none">▶ 新校舎は、学習環境や防災面などを総合的に評価した結果、浸水リスクの低い敷地北側に配置する計画とした。▶ 地域開放スペースについては、コミュニティカフェや地域の集まり、コンサート、防災活動など、多世代が交流できる場としての活用を想定している。▶ 設計に当たっては、地域や教職員とのワークショップを重ね、校舎配置や教室レイアウト、地域開放機能などの検討を進めてきた。▶ 校舎内には、地域交流室や図書スペース、多目的スペースを設け、異学年交流や多様な学び、地域とのつながりを生み出す計画としている。▶ 敷地内は歩行者と車両の動線を分離し、安全性に配慮するとともに、既存の池や樹木を保全しながら整備を進める。▶ 既存校舎跡地は「わらしな広場」として整備し、こどもたちの遊び場や地域イベント、防災活動などに活用できる交流拠点とする。
-----------------------	--

4 新しい学校の教育制度について(小規模特認校制度)

事務局説明 (ポイント)	<ul style="list-style-type: none">▶ 藁科地域の新しい小中学校について、市内全域から就学できる「小規模特認校」として指定することを検討している。▶ 小規模特認校は、中山間地の特色ある教育環境を活かしながら、児童生徒数の確保や多様な学びの機会の充実を図ることを目的とした制度である。▶ 募集人数は、学校全体の規模や将来の児童生徒数を踏まえ、小中学校合わせて45名程度とする方向で検討している。▶ 就学に当たっては、学校の教育方針への賛同や保護者による送迎等の通学手段の確保など、一定の条件を満たす必要がある。▶ 今後、地域への意向確認や関係者との協議を進め、令和9年度末までの指定決定、令和10年度からの制度開始を目指している。
委員意見 (抜粋)	<ul style="list-style-type: none">▶ 転入後に転出を希望する場合はどうか？(事務局回答:中学校卒業までの就学継続を原則とするが、個別の事情がある場合は相談に応じる。)▶ 制度利用者への通学費用に補助はないのか？(事務局回答:保護者の意思による指定校変更は補助対象外としている。)

5 統合後の学校名・校歌について

事務局説明 (ポイント)	<ul style="list-style-type: none">▶ 令和10年4月の新しい小中学校の開校に向け、学校名や校歌について、こどもたちや保護者、地域住民の意見を広く聴くためのアンケートを実施する。▶ 学校名については、従来どおり地域名を用いるか、新しい名称をつくりたいかを含め、学校名の案や込めたい思いについて意見を伺う。▶ 校歌については、既存の小学校・中学校の校歌をそのまま共通校歌とすることが難しいことから、「現在の小・中学校の校歌を両方残すか」「新しい校歌を作るか」について意見を伺う。▶ アンケートは中藁科地区・清沢地区の全住民を対象に、紙とインターネットで実施し、結果を踏まえて今後の開校準備委員会で協議を進める予定である。
委員意見 (抜粋)	<ul style="list-style-type: none">▶ 学校名が決まっていない段階で校歌に関するアンケートを実施できるのか？(事務局回答:まずは地域の意向を把握することを目的としており、学校名との関係で既存校歌が使用できない場合は、アンケート結果を踏まえて改めて対応を検討する。)

【お問い合わせ先】

■ 静岡市教育委員会事務局教育局教育総務課(準備委員会全体に関すること)

電話:054-354-2505

■ 静岡市立藁科中学校 電話:054-279-0120



今後の準備委員会スケジュール(予定)

次回 第15回

10月頃開催